

令和5年度 金融庁行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1. 開催日時：令和5年6月9日（金）15時00分～16時35分

2. 開催場所：中央合同庁舎第7号館西館9階 共用会議室（905C）

3. 外部有識者（敬称略）

金丸 由美 森・濱田松本法律事務所 弁護士、公認会計士

4. 主な審議内容

事務局より、令和5年度の外部有識者点検対象事業について説明を行った後、質疑・応答を踏まえ、外部有識者から以下のとおり所見が述べられた。

「OECDが行うG20/OECDコーポレートガバナンス原則改訂に伴うメソドロジー改訂作業に必要な経費」

○ 長期アウトカムについて、本事業の達成度を測っていくものとしてより適切な指標がないか、検討してはどうか。定量的な成果目標の設定が難しい場合には、定性的に記載することも考えられる。

「コーポレートガバナンスの更なる推進に係る事業費」

○ 長期アウトカムについて、本事業の達成度を定量的に測っていくものとして適切な指標がないか、引き続き長期的に検討してはどうか。複数の指標を組み合わせる方法も考えられる。

「サステナビリティ開示の諸制度の調査等・人的資本に関する国際的な開示ルールの策定の推進」

○ 長期アウトカムについて、本事業の成果をより詳細に検証できるよう、可能な限り具体的に記載してはどうか。

「金融モニタリング等実施経費」

○ 長期アウトカムについて、本事業の目的に照らすと、改善の提案を事後的にフォローアップすることがより重要かと思われるため、その観点からより適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設定が難しい場合には、定性的に記載することも考えられる。

以 上